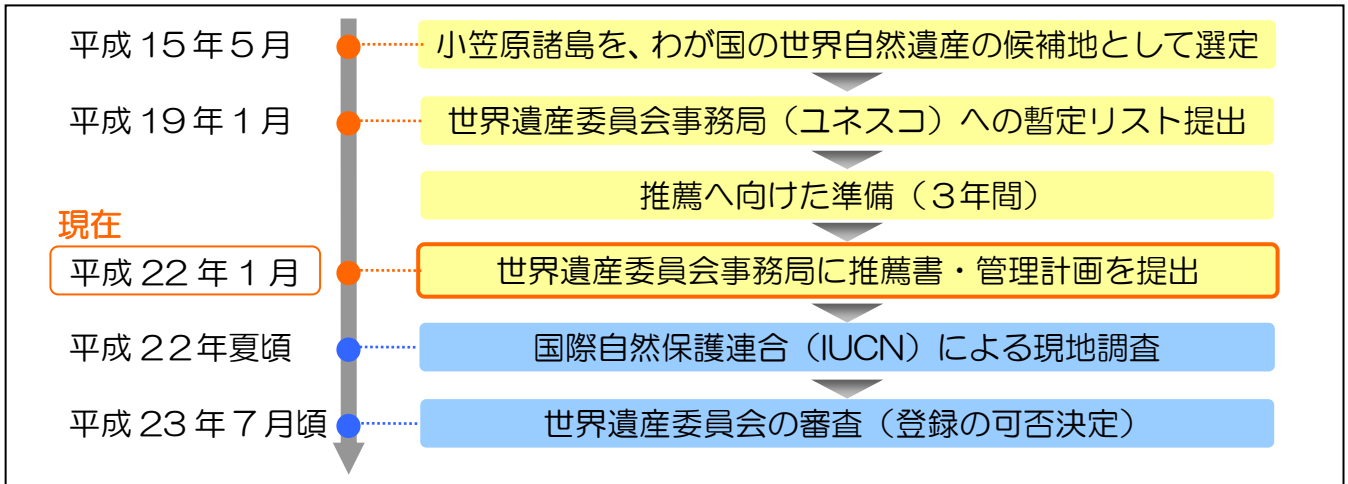


小笠原諸島の世界自然遺産登録への推薦書を提出しました。

小笠原諸島の世界自然遺産への推薦・登録までの流れ

- ◆平成22年1月26日に、日本政府が小笠原諸島の世界自然遺産登録への推薦書を世界遺産委員会事務局に提出しました。
- ◆その後、平成22年夏頃 IUCN による現地調査などを経て、平成23年の7月頃に開催される世界遺産委員会で登録の可否が決定される見込みです。



小笠原諸島の世界遺産としての価値

- ◆世界自然遺産に登録されるためには、「自然景観」「地形・地質」「生態系」「生物多様性」の4つの基準のうち、1つ以上に合致することが必要です。
- ◆小笠原は、「地形・地質」「生態系」「生物多様性」の3つに合致すると考えています。

地形・地質：地球史の顕著な見本

小笠原諸島は、大陸形成の元となる海洋性島弧（海洋プレート同士がぶつかり合って形成された列島）が、どのように発生し成長するかという地球の歴史を、陸上に露出した地層や岩石から解明し、見ることでできる世界で唯一の場所です。



ボニナイトの露頭

生態系：生物進化の過程を示す顕著な見本

小笠原諸島は大陸と一度も陸続きにならなかったことがないため、たどり着いた生き物は、競争相手が少ない中で、島の様々な場所に分布を拡大しました。それぞれの場所で生活しやすい形へと進化した結果、現在は多くの固有種が見られます。特に、乾燥した気候に適応した乾性低木林や、多様な色・形をした陸産貝類などにおいて、今なお進行中の進化の過程を見ることができます。



アナカタマイマイ

生物多様性：希少種等の重要な生息生育地

小笠原諸島は限られた面積の陸域に多くの生物が生息・生育し、その多くは他にはいない固有種です。また、オガサワラオオコウモリやクロアジアホウドリなど世界的に重要とされる絶滅のおそれのある種が生息しており、北西太平洋地域における生物多様性の保全のために不可欠な地域です。



クロアジアホウドリ



遺産価値を守るための管理計画

- ◆世界自然遺産への登録に向けて、小笠原の自然環境の価値をより良い形で後世に引き継いでいくために、「管理計画」を策定しました。本計画は小笠原諸島全体を対象としており、以下に示す全体目標のもと、関係行政機関が島民等の関係者と連携・協力しながら適切な管理を進めるものです。

管理の全体目標

小笠原諸島は、大陸地殻を形成する元になった海洋性島弧の形成過程を示す地域であり、海洋島独自の適応放散によって進化を続けている固有種等が構成する特異な生態系を有する『地球と生物の進化の過程を記す世界でも貴重な場所』である。この顕著で普遍的価値を正しく理解し、島の自然と人間が共生していくことにより、小笠原諸島の有する優れた自然環境を健全な状態で後世に引き継いでいく。

基本方針

全体目標達成のために掲げた以下の4つの基本方針に基づき、様々な取組が実施されています。

(1) 優れた自然環境の保全

- ①海洋性島弧の形成過程を示す「証拠」の保全
- ②固有種・希少種、独特の生態系の保全

→父島東平では、アカガシラカラスバトサンクチュアリーを設定し、生息地の保全・整備を行っています。



アカガシラカラスバト

(2) 外来種による影響の排除・回避

- ①総合的な生態系管理の考えに基づく外来種対策の推進

→兄島ではノヤギの根絶が、弟島ではウシガエルとノブタの根絶が新たに達成されました。



ノヤギの捕獲

- ②新たな外来種の侵入・拡散予防への取組の推進

→外来種を新たに小笠原に持ち込んだり、侵入していない場所に拡散させたりしないための取組も行われています。



ははじ丸下船時の靴底洗浄

(3) 人の暮らしと自然との調和

- ①各種事業を実施するにあたっての環境配慮
- ②自然と共生した島の暮らしと産業

→小笠原で野生動物と人とペットが幸せに暮らすために、父島では「飼い主の会」が、母島では「299(ニクキュー)の会」が発足するなど、住民主導の取組もスタートして



マイクロチップの装着

→小笠原諸島の世界遺産登録に向けたスローガンを募集し、以下に決定しました。

かなえよう 小さな島の 大きな夢を！
～心ひとつに小笠原～

(4) 順応的な保全・管理の実施

- ①適切なモニタリングと情報の活用
- ②科学的アプローチと合意形成

→今後も、関係行政機関が、小笠原諸島に住む島民、事業者、研究者、NPO、来島者など全ての関係者と連携・協力しながら、管理のための様々な取組を継続していきます。

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所 立田

Tel/Fax : 04998-2-7174/7175

Email : RIICHIRO_TATSUTA@env.go.jp

小笠原総合事務所国有林課内

小笠原諸島森林生態系保全対策室 原田

Tel/Fax : 04998-2-2103/2650

Email : masaaki_harada@rinya.maff.go.jp

東京都小笠原支庁 今井

Tel/Fax : 04998-2-2123/2302

Email : Masami_Imai@member.metro.tokyo.jp

小笠原村総務課企画政策室 岩本

Tel/Fax : 04998-2-3111/3222

Email : m_jwamoto@vill.ogasawara.tokyo.jp